

速報

道新&道スポ



発行所
北海道新聞社
郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp



ファイターズの
選手・コーチが
登壇すると熱狂
的な拍手に包ま
れた

今年こそ日本一だ!

昨年の大活躍で道民の「人気ナンバーワン球団」となった北海道日本ハムファイターズは「信念、希望、野球を愛そう」をスローガンに、本拠地移転2年目のスタートを切る。4日夜、選手激励会が札幌パークホテルで開かれ、八百人のファンが「勝って、勝って、もっと北海道に元気を」とホルテージを上げた。

球団OBで解説者の広瀬哲朗さんと小笠原道大選手会長らとのトークショーで盛り上がり、握手を交わしながら、和気あいあいの交歓が繰り広げられた。今年のプロ野球は、リーグに東北楽天ゴールデンイーグルスが誕生したほか、

力強くV宣言 選手 激励会



日本ハムのテレビCMに出演するタレントの山口もえさんから花束を贈られるヒルマン監督

Faith, Hope, Love The Game

パ・セ交流試合が実現するなど話題が盛りだくさん。昨年よりエキサイティングな試合が展開されるのは間違いない。札幌ドーム初戦は28日(月)午後6時から西武戦。そして4月2日(土)午後1時からオリックス戦は「もっと北海道道新&道スポプレゼンツ」として行われる。「破竹の勢いでみんなが信じる夢の実現を」とファンは願っている。



充実する戦力、気力

「進歩」を誓う小笠原

北海道移転2年目のヒルマンファイターズ。沖繩キャンプを終えた選手は、オープン戦入りして順調な仕上がりを見せている。道新スポーツの平沢芳明記者が沖繩キャンプの様相を報告する。

「今シーズンこそが大切」。今年もチームキヤブテンに指名された小笠原は、短い言葉にすべてを集約した。昨年、北の大地に本拠地を移したファイターズ。小笠原が「移転はチームにとって

だが、ファンの大声援に後押しされ、プレーオフ進出を果たした。しかし優勝してこそ、初めて笑える勝負の世界。だからこそ今季が大切となる。

ファンの「熱い声援」を裏切るわけにはいかない。「2年目がダメでは何もしなければならない、進歩がなければいけない」と小笠原は位置付けた。その姿勢が今キャンプの「一無の境地」ではないだろうか。第1クールから打撃ケージに入った。積極的に特守にも挑んだ。黙々と取り組む小笠原の背中が物語る「やる気」は、今年もファイターズを奮立たせるはずだ。ブルペンではエース金

村の自覚がにじみ出ていた。自主トレから体調管理を徹底した。時には球数にこだわり、時には内容にこだわる。真の大黒柱としての責任感がある。3年連続の2ケタ勝利は、金村の潜在能力からすれば当たり前のこと。今年は最低でも背番号16以上の数字を残す意気込みだ。ほかに新庄のパフォーマンスは、プレーでも、エンターテインメントとしても、昨年以上のものを見せてくれるはずだ。強力助っ人セギノールに、2000本安打を狙う大ベテラン田中幸。今季も必勝リレーとなる建山、横山のタイトルホルダーコンビなど、全員が頂点を狙う。

後半は雨にたたられた沖繩キャンプだが、選手たちの揺るぎない「前進する意欲」が前面に出ていた。ドラフト3巡目で入団してきた橋本は、一軍への階段を着実に登り、同じく社会人から入団してきた工藤は、持ち前の俊足と守備範囲の広さでキヤブ中も一軍の実戦に呼ばれるなど「うちに一番欲しかった」と岡本ブーム監督も大鼓舞を押しつけた。高校ルーキーとして



全体練習後、急ぎよ開かれた新庄のサイン会には、ファンがどっとおし寄せた



ランニングをする高橋信二(左から2人目)ら日ハム選手たち。どの顔も明るさいっぱい



北海道移転2年目に「無の境地」で臨む小笠原。キャンプでは、近寄りたがたい雰囲気さえ漂わせる



ブルペンで投げ込むエース金村。背番号以上の勝ち星を目差す